

◆第17回 テーマ別読解演習「科学・文明」③/説明文

前回に続き、今回も説明文の学習で、テーマは科学・文明です。㊦の「湯川秀樹」の文章では、科学に対する問題点を指摘しています。このように、筆者が科学に対してどういう立場なのかをしっかりとおさえましょう。また、㊧のような、理科学的な文章にも慣れておきましょう。今回特に注意してほしい問題は、以下の通りです。

㊦ 問一 比喩表現を具体化する問題です。「天使」や「悪魔」とたとえた意図を考えましょう。

問四 筆者の考えをうまくまとめましょう。

問五 傍線部に指示語がある場合は、その指示語がなにを指すのかをおさえましょう。

㊧ 問一 接続語の問題です。空欄の前後をよく読んで、つながりをおさえましょう。

問二 空欄補充の問題は、まず空欄の前後を読んで、どんな答えがあてはまるか予測をつけて、あとは本文から探しましょう。

問八 筆者の導いた結論をおさえます。

宿題 問七 題名を選ぶ場合、筆者の言いたかったことと最も関連のあるものを選びます。

問八 段落分けの問題は、各段落の中心文をおさえましょう。

◆第18回 入試問題研究③

今回は入試問題研究です。入試問題を解くのですが、時間を計って、解答用紙に書き込みます。入試問題なので、難問に時間をかけ過ぎずに、問題選定をしながら解く実践的な学習をします。今回は文章題が2題と詩が1題とあります。㊦から取り組む必要はありません。全体を見わたして、解きやすそうな問題から取り組みましょう。解答には配点を書いてあるので、WEBを見ながらマルつけをして、得点も出してみましょう。

㊦ 問三 接続語の問題です。それぞれの接続語の働きをおさえましょう。

問六 本文中で使われている意味をしっかりとおさえましょう。

問十 傍線部や空欄がない選択問題は、消去法を使って解いてみましょう。

㊧ 問二 表現技法のそれぞれの働きをおさえましょう。

問七 心情の変化を問う問題は重要です。

問十 正誤問題ですが、この文章では登場人物が多いので、誰がなにをしたのかをしっかりと読み取りましょう。

宿題 問五 理由記述です。筆者の考えをまとめましょう。

問九 空欄補充ですが、空欄が「」の中にあります。その意図を考えてみましょう。

◆第19回 入試問題研究④

今回も入試問題研究です。今回は問題用紙に解答欄がある形式の問題になっています。こういう形式にも慣れていきましょう。解答には配点を書いてあるので、WEBを見ながらマルつけをして、得点も出してみましよう。

- ⊕ 問三 接続語の問題です。それぞれの接続語の働きをおさえましよう。
 - 問六 理由記述です。筆者の考えをまとめましよう。
 - 問十 筆者の主張をおさえ、消去法を使って考えましよう。
- Ⓧ 問四 空欄補充で説明するパターンの形式にも慣れていきましょう。
 - 問七 心情記述の問題は、どんなできごとがあったからなのをおさえましよう。
 - 問九 この物語を通しての主題をおさえましよう。
- 宿題 問五 「バラ色」という表現は慣用的につかわれますので、意味をおさえておきましよう。
 - 問八 脱文挿入の問題では、脱文の指示語や接続語に注意ましよう。

夏休みを目前にしたこの時期は、心がうきうきとして、なかなか勉強に集中できない時期でもありますが、日々の学習を大切にして、しっかりとがんばってください。学習のリズムをしっかりとつかみ、課題に取り組むスケジュールは確立させていきましょう。くり返しになりますが、この講座をより深く理解するためには、本科教室をきちんと理解することが必要です。この基礎にあたる部分を大切にして、取り組むようにしてください。

動画の構成としては、まずは「例題」が各回3～4題収録されています。例題は動画を見ながら解法の手がかりとなる考え方を習得してください。例題の次には、練習問題として、例題の数値替えの問題が収録されています。機械的に数値を入れ替えて答えを出すのではなく、もう一度解法を確認しながら取り組むようにしてください。練成問題は、例題から派生した問題を中心に収録しています。このうち、例題から少し離れるタイプのうち、特に重要なものを動画で扱っています。

各回の学習の目安は以下の通りです。

◆第17回 平面図形V

テーマは「図形の移動」です。前回までは、問題文に提示された長さや面積を求めていましたが、今回は作図が必要になりますね。まずは「正確に！速く！」作図することが必要です。最難関校の入試では、よく出題される単元ですので、面倒がらずに取り組んでください。

① 「例題と練習問題」

例題1－転がり移動

円が転がって移動すると、転がっているのに、辺と平行に移動しているように見えますね。ポイントは、曲がり角です。直径がどのように動くのかを意識しながら取り組みましょう。

例題2－回転移動①

回転するので、動く跡はおうぎ形の弧を描きます。例題では作図がされている状態なので、まだ取り組みやすいですね。面積を求めるにあたって、「斜線部分＝全体－白」または「等積変形」の両方の解法をおさえておきましょう。

例題3－平行移動

平行移動では、「等積変形」をすることで、単純な図形になります。その視点をもって、図形を見るよう心がけてください。

例題4－回転移動②

中心と移動の対象が離れているときは、注意が必要です。中心からの距離が最も遠い点はどこか？中心からの距離が最も近い点はどこか？を意識することが大切です。

各例題の動画を見て理解したら、必ず練習問題に取り組んで、答え合わせをしましょう。そのとき、間違っていたら、どこで間違えたかをよく理解して、再度解き直しをするということを徹底してく

ださい。疑問点があれば、再度例題の動画を見てみましょう。

②「練成問題」

練成問題では、いくつか選択して動画で扱っています。その問題についてはしっかりと理解をしましょう。余裕があれば、残りの問題にも取り組んでください。ただし、理解には段階があります。時期を経て再び扱う問題もあるので、全部解かないといけないと思う必要はありません。

◆第18回 割合Ⅰ

2つの量の大きさを「何倍の関係」で表すのが割合です。そのため、何と何とが組になっているのかを正しく理解してください。そのため、割合の単元では、正しい日本語の理解が必要になります。

①「例題と練習問題」

例題1－割合の応用

全体を2つ（男子と女子）に分けていますね。すると、当然男子と女子の和は①（＝100％）になります。

例題2－割合の応用

「基準」が変化していることは理解できていますか？「休祭日は平日よりも…」「正月は休祭日よりも…」問題文に書かれていることを正しく理解しましょう。

例題3－割合の応用

変化のようすを理解することが大切です。割合はもとにする量の何倍であるかをあらわしたものです。「かけ算・わり算」を利用することを意識してください。

各例題の動画を見て理解したら、必ず練習問題に取り組んで、答え合わせをしましょう。そのとき、間違っていたら、どこで間違えたかをよく理解して、再度解き直しをするということを徹底してください。疑問点があれば、再度例題の動画を見てみましょう。

②「練成問題」

練成問題では、いくつか選択して動画で扱っています。その問題についてはしっかりと理解をしましょう。余裕があれば、残りの問題にも取り組んでください。ただし、理解には段階があります。時期を経て再び扱う問題もあるので、全部解かないといけないと思う必要はありません。

◆第19回 割合Ⅱ

テーマは「相当算」です。まずは、正しく文章を読み取ることが大切です。その様子を正しく線分図にあらわすことができれば、正答への方針は立ちますね。そのとき、割合には○や□をつけて、割合であることを強く意識しておきましょう。

①「例題と練習問題」

例題 1－相当算の応用①

分けるときに、割合だけでなく端数がつく問題です。ただ、正しく線分図をかくことができれば、特に難しいところはありませんね。「実数と割合の対応」をおさえて取り組みましょう。

例題 2－相当算の応用②

全体を「2つのものに分ける」問題です。左右から線分図をかいていくように心がけてください。重なりなどに注目すると、関係が分かってきますね。

例題 3－等しいモノに注目する

等しいモノに注目します。当たり前ですが、等しいモノを同じ量に設定することで、関係が分かってきます。

各例題の動画を見て理解したら、必ず練習問題に取り組んで、答え合わせをしましょう。そのとき、間違っていたら、どこで間違えたかをよく理解して、再度解き直しをするということを徹底してください。疑問点があれば、再度例題の動画を見てみましょう。

②「練成問題」

練成問題では、いくつか選択して動画で扱っています。その問題についてはしっかりと理解をしましょう。余裕があれば、残りの問題にも取り組んでください。ただし、理解には段階があります。時期を経て再び扱う問題もあるので、全部解かないといけないと思う必要はありません。